



平成25年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年1月7日

上場会社名 株式会社 イズミ 上場取引所 東 大  
 コード番号 8273 URL http://www.izumi.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山西 泰明  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員財務経理部長 (氏名) 川西 正身 (TEL) 082(264)3211  
 四半期報告書提出予定日 平成25年1月11日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 :  有・ 無  
 四半期決算説明会開催の有無 :  有・ 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年2月期第3四半期の連結業績（平成24年3月1日～平成24年11月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年2月期第3四半期	387,924	4.4	19,124	13.7	18,405	13.6	11,084	45.9
24年2月期第3四半期	371,609	1.7	16,821	12.3	16,204	14.4	7,598	5.2

(注) 包括利益 25年2月期第3四半期 11,543百万円 (11.8%) 24年2月期第3四半期 10,326百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年2月期第3四半期	139.97	—
24年2月期第3四半期	82.82	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年2月期第3四半期	387,111	121,456	28.6
24年2月期	370,377	125,389	30.3

(参考) 自己資本 25年2月期第3四半期 110,809百万円 24年2月期 112,302百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1 四半期末	第2 四半期末	第3 四半期末	期 末	合 計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年2月期	—	8.00	—	12.00	20.00
25年2月期	—	18.00	—	—	—
25年2月期(予想)	—	—	—	18.00	36.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有・ 無

3. 平成25年2月期の連結業績予想（平成24年3月1日～平成25年2月28日）

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	533,600	3.4	28,100	15.9	27,200	15.6	16,500	49.1	209.23

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有・ 無

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有・無  
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有・無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有・無  
② ①以外の会計方針の変更 : 有・無  
③ 会計上の見積りの変更 : 有・無  
④ 修正再表示 : 有・無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	25年2月期3Q	78,861,920株	24年2月期	95,273,420株
② 期末自己株式数	25年2月期3Q	3,510,361株	24年2月期	14,390,035株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	25年2月期3Q	79,195,470株	24年2月期3Q	91,744,309株

#### ※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表の四半期レビュー手続は終了していません。

#### ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、7ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	6
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	7
2. サマリー情報(その他)に関する事項	7
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	7
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	7
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	7
3. 四半期連結財務諸表	8
(1) 四半期連結貸借対照表	8
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	10
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	12
(4) 継続企業の前提に関する注記	13
(5) セグメント情報	13
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	14
(7) 重要な後発事象	14

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間（以下、当第3四半期）のわが国経済は、海外経済の減速や中国関係の悪化により製造業を中心に業況が悪化したことを受け景気不透明感が強まりました。また、冬季賞与の大幅ダウンが見込まれる中、小売業界においても業態を越えた競合や価格訴求を強める動きが広がるなど対応の難しい状況が続きました。

当社グループにおいては、創業50周年の節目を迎えた前年度に続き、当年度を更なる飛躍を遂げるための挑戦と革新の一年と位置づけ、ご提供する商品・サービスをお客様の視点で見直しました。特に、消費市場の成熟化と厳しさを増す所得動向に対応し、各商品分野で“いいものを安く”を実現する取り組みを進めてまいりました。

また、当社グループは成長戦略として、広域型ショッピングセンター「ゆめタウン」の出店に加えて、小商圏型店舗の積極出店を志向しています。この小商圏型店舗については、当第3四半期より食品中心の品揃えから医薬品等の非食品の売場も拡充することで来店頻度や収益性を高めようと試みており、来年度以降の大量出店に備えました。

さらに、当社は業務標準化と人員の多能化により店舗の人的生産性を高める活動に取り組んでいますが、これまでの活動の成果を水平展開するとともに、一段の改善効果を目指した次段階の試みに取り組ましました。

これらの結果、営業成績は以下のとおり増収増益となりました。

	前第3四半期 (H23年3月～H23年11月)	当第3四半期 (H24年3月～H24年11月)	増減（金額）	増減（率）
営業収益	371,609百万円	387,924百万円	16,315百万円	4.4%
営業利益	16,821百万円	19,124百万円	2,303百万円	13.7%
経常利益	16,204百万円	18,405百万円	2,201百万円	13.6%
四半期純利益	7,598百万円	11,084百万円	3,486百万円	45.9%

#### 営業成績の主な増減要因

##### ①営業収益及び売上総利益

営業収益のうち、売上高は前年同期比15,370百万円（4.3%）増加し、369,369百万円となりました。この増加は、主に前年度及び当第3四半期における店舗新設によるものです。

営業収入は、テナント数増加に伴う共同管理費収入の増加等により、前年同期比944百万円（5.4%）増加し、18,555百万円となりました。

売上総利益は、78,814百万円（前年同期比1,700百万円増）となりました。売上高対比では21.3%となり前第3四半期に比べて0.5ポイント低下しました。この低下は主に、相対的に売上総利益率が低いテナント部門において、前年第3四半期の「ゆめタウン徳島」の新設や既存店舗での堅調な販売実績によって、全社売上高に占める構成比が高まったことによるものです。

②販売費及び一般管理費並びに営業利益

販売費及び一般管理費は、人的生産性の改善による人件費の抑制や広告宣伝費等諸経費の節減に努めたこと等により、78,244百万円と前年同期比341百万円の増加に留まりました。売上高対比で21.2%となり前第3四半期に比べて0.8ポイント低下いたしました。

これらの結果、営業利益は前年同期比2,303百万円(13.7%)増加の19,124百万円となりました。売上高対比は5.2%と前第3四半期に比べて0.4ポイント改善しています。

③営業外損益及び経常利益

営業外収益は受取利息等の減少により前年同期比228百万円減少の837百万円となった一方、営業外費用は支払利息の減少等により前年同期比126百万円減少の1,557百万円となりました。

これらの結果、経常利益は前年同期比2,201百万円(13.6%)増加の18,405百万円となりました。売上高対比は5.0%と前第3四半期に比べて0.4ポイント改善しています。

④特別損益、法人税等、少数株主利益及び四半期純利益

特別利益は子会社株式の追加取得による負ののれん発生益745百万円等を計上し826百万円となりました(前年同期比1,839百万円の減少)。なお、前第3四半期は自己株式消却に伴う有価証券売却益2,518百万円等を計上しています。一方、特別損失は固定資産除却損411百万円等を計上し597百万円となりました(前年同期比1,963百万円の減少)。なお、前第3四半期は資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額1,844百万円等を計上しています。

法人税等は、繰延税金資産の減少等により7,189百万円となりました(前年同期比1,465百万円の増加)。

少数株主利益は360百万円となりました(前年同期比2,626百万円の減少)。なお、前第3四半期は自己株式消却に伴い、有価証券売却益と同額の2,518百万円等を計上しています。

これらの結果、四半期純利益は前年同期比3,486百万円(45.9%)増加の11,084百万円となりました。売上高対比は3.0%と前第3四半期に比べて0.9ポイント改善しています。

⑤その他

自己株式について、当第3四半期に5,531千株取得した一方、前期末時点の保有分を含めて16,411千株を消却しました。これにより、発行済株式総数は78,861千株となりました。(前期末対比17.2%減少)

これらの効果も加わり、当第3四半期の1株当たり四半期純利益は139.97円(前年同期比57.15円増)となり、当第3四半期末の1株当たり純資産は1,470.57円(前期末対比82.12円増)となりました。

各セグメントの業績

■営業収益

	前第3四半期 (H23年3月～H23年11月)	当第3四半期 (H24年3月～H24年11月)	増減(金額)	増減 (率)
小売事業	367,216百万円	384,559百万円	17,342百万円	4.7%
小売周辺事業	24,053百万円	23,437百万円	△616百万円	△2.6%
その他	3,633百万円	3,634百万円	0百万円	0.0%
調整額	△23,294百万円	△23,706百万円	△412百万円	—
合計	371,609百万円	387,924百万円	16,315百万円	4.4%

■営業利益

	前第3四半期 (H23年3月～H23年11月)	当第3四半期 (H24年3月～H24年11月)	増減(金額)	増減 (率)
小売事業	13,780百万円	15,945百万円	2,165百万円	15.7%
小売周辺事業	2,328百万円	2,518百万円	190百万円	8.2%
その他	690百万円	658百万円	△31百万円	△4.6%
調整額	21百万円	1百万円	△20百万円	△92.2%
合計	16,821百万円	19,124百万円	2,303百万円	13.7%

①小売事業

当社グループの中核事業である小売事業では、引き続き「いいものを安く」をスローガンに掲げ、品揃えや価格設定を見直すとともに原価低減に努めました。特に、衣料品部門においては、若い世代のお客様にご満足いただける最新ファッションをリーズナブルな価格でご提供する取り組みを進めました。また、直営各部門では、前期に引き続き新規事業の開発に取り組み、書籍・ベーカリー等を導入により店舗の競争力改善に努めました。さらに、テナント部門では、既存店舗を新鮮で競争力ある店舗に生まれ変わらせるべく、新たな有力テナントの導入を進め、地域における「ゆめタウン」ブランドの向上に結び付けていきました。

店舗面では、小商圈型店舗の今後のモデルとして、6月に「you meマート(ゆめマート)小倉東店」(福岡県北九州市、店舗面積 約2,700㎡)を新設しました。食品売場にドラッグを併設することで日常の利便性を高め集客力の向上を図るとともに、人員の多能化などを進めて店舗運営コストの低減を図りました。

また、同じく6月には、山口県小野田市にある商業施設“おのだサンパーク”の核テナントとして「ゆめタウン小野田」(店舗面積 約8,000㎡)を出店しました。これにより、山口県中西部における当社既存店舗網は一段と強固なものとなり、地域における存在感を高めていけるものと期待しています。

これらの取り組みに対して販売動向は、春先においては、前年度の震災特需に対する反動減はみられたものの概ね堅調に推移しました。夏場は、天候不順による季節商品の需要低迷や九州地方を中心とした集中豪雨被害等により伸び悩みました。秋口以降は、高めの気温が続く中、製造業を中

心とした業況悪化等により消費マインドの低下も見られ苦戦しましたが、11月には気温が大きく低下したことで季節品需要が顕在化し、結果として春夏よりも高い伸びを示すことができました（社の既存店売上高の前年同期比は、3月から8月までが0.4%減、9月から11月にかけては1.0%増となりました。）。ただし、食料品部門については、他業態の出店拡大や業界全般における価格対応強化の動きを受け、販売高は既存店ベースで前年水準に届かない状況が続きました。なお、全店ベースの増収率は、昨年度オープンした「ゆめタウン徳島」（店舗面積 約48,000㎡）等の新設店舗の効果により、押し上げられています。

コスト面では、既存店舗の活性化に伴う負担増があった一方、労働時間の削減やパート・アルバイトの活用による単位売上当たりの人件費の抑制を推し進めました。また、店舗の後方在庫の削減や作業方法の見直しにより生産性や商品鮮度・値下ロスの改善に努めるとともに、販促費等諸経費全般につき費用対効果を見定め節減を図りました。

これらの結果、営業収益は384,559百万円（前年同期比4.7%増）、営業利益は15,945百万円（前年同期比15.7%増）となりました。

## ②小売周辺事業

小売周辺事業では、一部の業務において他セグメントとのグループ間取引の条件を見直したことにより、営業収益は前年同期比2.6%減の23,437百万円となりました。

しかしながら、前年に引き続き取り組んできたショッピング時のクレジット利用推進や電子マネー「ゆめか」の利用拡大により、これらの取扱手数料収入は順調に増加しました。特に、電子マネー「ゆめか」は、取扱先の拡充や顧客利便性の向上により会員数が急速に増加しており（前期末45万人、当第3四半期末85万人）、高い店頭利用率と相まって、当社グループ全体の集客力の向上やレジ効率の改善に貢献しています。

さらに、人員の多能化や外注業務の内製化等諸コストの削減に努めたことや、キャッシング業務に係る費用負担の軽減により、営業利益は前年同期比8.2%増の2,518百万円となりました。

## ③その他

卸売業務では、衣料品需要の減退と海外からの仕入コストの上昇により利益水準を低下させましたが、秋以降の季節物需要の盛り上がりを受け低下幅は改善しました。また、不動産賃貸業務では、安定した賃料収入を計上した一方で、既存設備の修繕費用を計上しました。

これらの結果、営業収益は3,634百万円（前年同期比0.0%増）、営業利益は658百万円（前年同期比4.6%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末（以下、当第3四半期末）における資産、負債及び純資産の残高、及び前期末対比の増減額と主な増減理由は以下のとおりです。

	前期末 (H24年2月29日)	当第3四半期末 (H24年11月30日)	増減
総資産	370,377百万円	387,111百万円	16,734百万円
負債	244,987百万円	265,655百万円	20,667百万円
純資産	125,389百万円	121,456百万円	△3,933百万円

総資産

- ・当第3四半期の設備投資額は15,101百万円であり、これは主に店舗新設予定土地及び本社移転予定土地の取得によるものです。その結果、有形固定資産は、減価償却実施後で6,422百万円増加しました。
- ・受取手形及び売掛金は、クレジット取扱高の増加により、4,545百万円増加しました。

負債

- ・未払法人税等は、当第3四半期の納付等により、3,307百万円減少しました。
- ・有利子負債は、設備資金及び自己株式取得資金に充当するため、19,301百万円増加しました。
- ・流動負債その他は、前年第3四半期に新設した「ゆめタウン徳島」に係る設備未払金の資金決済等により、2,208百万円減少しました。

純資産

- ・利益剰余金は、内部留保額が上積みされた一方で、保有自己株式の消却原資に充当したため、11,715百万円減少しました。
- ・自己株式は、当第3四半期に5,531千株取得した一方、前期末時点の保有分を含めて16,411千株を消却しました。その結果、自己株式の残高は前期末に比べて10,202百万円減少しました。
- ・少数株主持分は、子会社株式を追加取得したこと等により2,440百万円減少しました。
- ・これらの結果、自己資本比率は28.6%となり、前期末の30.3%に比べて1.7ポイント低下しました。

②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期におけるキャッシュ・フローの状況は以下のとおりです。

	前第3四半期 (H23年3月～H23年11月)	当第3四半期 (H24年3月～H24年11月)	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	14,608百万円	15,566百万円	958百万円
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,774百万円	△19,265百万円	△12,490百万円
財務活動によるキャッシュ・フロー	△12,352百万円	4,575百万円	16,927百万円



#### 営業活動によるキャッシュ・フロー

- ・主な収入項目は、税金等調整前四半期純利益18,634百万円、減価償却費9,999百万円です。
- ・主な支出項目は、法人税等の支払額10,218百万円、売上債権の増加額4,514百万円です。
- ・前第3四半期と比較すると958百万円増加していますが、これは主に堅調な業績を受けて税金等調整前四半期純利益が増加したこと、及び仕入債務の増加額が前第3四半期に比べて増加したことによるものです。

#### 投資活動によるキャッシュ・フロー

- ・主な支出項目は、有形固定資産の取得による支出17,656百万円です。これは主に、前年新設店舗に係る設備未払金の決済や今後の店舗新設予定土地及び本社移転予定土地の取得によるものです。

#### 財務活動によるキャッシュ・フロー

- ・主な収入項目は、短期借入金の純増18,725百万円及び長期借入れによる収入18,300百万円です。これらの資金は、主に設備投資及び自己株式取得資金に充当しています。
- ・主な支出項目は、長期借入金の返済17,884百万円及び自己株式の取得10,207百万円です。

以上の結果、現金及び現金同等物の残高は、前期末対比877百万円増加し、7,137百万円となりました。

#### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

当期の連結業績予想について、現時点においては平成24年10月3日公表の予想数値に変更ありません。

#### 2. サマリー情報（その他）に関する事項

##### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

##### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

##### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年2月29日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年11月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,260	7,137
受取手形及び売掛金	20,323	24,869
商品及び製品	20,677	24,146
仕掛品	17	53
原材料及び貯蔵品	267	291
その他	14,324	15,073
貸倒引当金	△830	△769
流動資産合計	61,040	70,803
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	139,428	134,502
土地	121,051	130,303
その他(純額)	8,410	10,507
有形固定資産合計	268,891	275,313
無形固定資産		
投資その他の資産	7,059	7,172
その他	34,172	34,606
貸倒引当金	△786	△784
投資その他の資産合計	33,385	33,822
固定資産合計	309,336	316,308
資産合計	370,377	387,111
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	21,715	26,645
短期借入金	32,025	50,750
1年内返済予定の長期借入金	23,969	21,329
未払法人税等	6,179	2,871
賞与引当金	1,482	2,859
役員賞与引当金	62	1
ポイント引当金	1,584	1,776
商品券回収損失引当金	53	54
その他	15,851	13,643
流動負債合計	102,924	119,931
固定負債		
長期借入金	101,605	104,661
退職給付引当金	6,070	6,283
役員退職慰労引当金	962	1,188
利息返還損失引当金	482	417
資産除去債務	6,796	7,110
その他	26,145	26,062
固定負債合計	142,063	145,723
負債合計	244,987	265,655

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年2月29日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年11月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	19,613	19,613
資本剰余金	22,282	22,282
利益剰余金	87,555	75,840
自己株式	△17,043	△6,841
株主資本合計	112,407	110,894
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	214	220
為替換算調整勘定	△319	△305
その他の包括利益累計額合計	△105	△85
少数株主持分	13,087	10,647
純資産合計	125,389	121,456
負債純資産合計	370,377	387,111

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年11月30日)
売上高	353,998	369,369
売上原価	276,884	290,554
売上総利益	77,113	78,814
営業収入	17,611	18,555
営業総利益	94,724	97,369
販売費及び一般管理費	77,903	78,244
営業利益	16,821	19,124
営業外収益		
受取利息	132	103
仕入割引	280	288
その他	652	445
営業外収益合計	1,066	837
営業外費用		
支払利息	1,450	1,392
その他	232	164
営業外費用合計	1,683	1,557
経常利益	16,204	18,405
特別利益		
固定資産売却益	—	32
有価証券売却益	2,518	—
負ののれん発生益	—	745
その他	147	48
特別利益合計	2,666	826
特別損失		
固定資産売却損	—	151
固定資産除却損	484	411
投資有価証券評価損	—	9
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	1,844	—
その他	232	25
特別損失合計	2,560	597
税金等調整前四半期純利益	16,309	18,634
法人税、住民税及び事業税	6,459	6,997
法人税等調整額	△735	191
法人税等合計	5,723	7,189
少数株主損益調整前四半期純利益	10,585	11,445
少数株主利益	2,987	360
四半期純利益	7,598	11,084

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年11月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	10,585	11,445
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△231	84
為替換算調整勘定	△27	14
その他の包括利益合計	△259	98
四半期包括利益	10,326	11,543
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	7,352	11,104
少数株主に係る四半期包括利益	2,973	439

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3 四半期連結累計期間 (自 平成23年3月1日 至 平成23年11月30日)	当第3 四半期連結累計期間 (自 平成24年3月1日 至 平成24年11月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	16,309	18,634
減価償却費	10,169	9,999
負ののれん発生益	—	△745
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	1,844	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	6	△64
受取利息及び受取配当金	△199	△156
支払利息	1,450	1,392
有価証券売却損益 (△は益)	△2,518	—
持分法による投資損益 (△は益)	△17	△13
固定資産売却損益 (△は益)	△9	118
固定資産除却損	484	411
売上債権の増減額 (△は増加)	△3,934	△4,514
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△2,157	△3,443
仕入債務の増減額 (△は減少)	3,944	4,530
その他	△749	800
小計	24,623	26,949
利息及び配当金の受取額	190	146
利息の支払額	△1,374	△1,310
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△8,831	△10,218
営業活動によるキャッシュ・フロー	14,608	15,566
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△7,751	△17,656
有形固定資産の売却による収入	38	343
無形固定資産の取得による支出	△770	△335
投資有価証券の取得による支出	△66	△335
子会社株式の取得による支出	—	△413
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	—	218
短期貸付金の増減額 (△は増加)	1,373	△1,208
その他	402	121
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,774	△19,265
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	8,845	18,725
長期借入れによる収入	13,000	18,300
長期借入金の返済による支出	△16,831	△17,884
自己株式の取得による支出	△15,635	△10,207
子会社の自己株式の取得による支出	—	△1,701
配当金の支払額	△1,471	△2,390
少数株主への配当金の支払額	△20	△20
その他	△238	△246
財務活動によるキャッシュ・フロー	△12,352	4,575
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2	1
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△4,521	877
現金及び現金同等物の期首残高	12,316	6,260
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,795	7,137

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

前第3四半期連結累計期間(自平成23年3月1日至平成23年11月30日)

報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	計	調整額 (注2)	四半期連結 財務諸表 計上額 (注3)
	小売事業	小売周辺 事業	計				
営業収益							
外部顧客への 営業収益	359,051	10,159	369,210	2,398	371,609	—	371,609
セグメント間の内部 営業収益又は振替高	8,165	13,894	22,059	1,235	23,294	△23,294	—
計	367,216	24,053	391,270	3,633	394,904	△23,294	371,609
セグメント利益	13,780	2,328	16,108	690	16,799	21	16,821

(注1) 「その他」の区分は、衣料品などの卸売事業等を含んでおります。

(注2) セグメント利益の調整額 21百万円は、セグメント間の未実現利益の調整額等を含んでおります。

(注3) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自平成24年3月1日至平成24年11月30日)

1 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	計	調整額 (注2)	四半期連結 財務諸表 計上額 (注3)
	小売事業	小売周辺 事業	計				
営業収益							
外部顧客への 営業収益	372,749	12,763	385,513	2,410	387,924	—	387,924
セグメント間の内部 営業収益又は振替高	11,809	10,673	22,482	1,224	23,706	△23,706	—
計	384,559	23,437	407,996	3,634	411,631	△23,706	387,924
セグメント利益	15,945	2,518	18,464	658	19,123	1	19,124

(注1) 「その他」の区分は、衣料品などの卸売事業等を含んでおります。

(注2) セグメント利益の調整額 1百万円は、セグメント間の未実現利益の調整額等を含んでおります。

(注3) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

小売事業セグメントにおいて、当第3四半期連結会計期間に株式会社西紅及びその子会社3社を取得し連結子会社といたしました。当該事象によるのれんの増加額は当第3四半期連結累計期間においては574百万円であります。

(重要な負ののれん発生益)

子会社株式の追加取得により、負ののれん発生益745百万円を計上しましたが、特別利益に区分されるため、上表には含めておりません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、当第3四半期連結累計期間において、会社法第178条の規定に基づき自己株式16,411千株を消却するとともに、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき自己株式5,530千株を新たに取得しております。これらにより利益剰余金が20,410百万円、自己株式が10,204百万円減少いたしました。

(7) 重要な後発事象

自己株式の取得

当社は平成24年10月3日開催の取締役会において、以下のとおり、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式を取得することを決議いたしました。

自己株式の取得を行う理由

株主還元の充実および資本効率の向上を図るとともに、経営環境の変化に対応した機動的な資本政策を可能とするため。

取得に係る事項の内容

・取得対象株式の種類	普通株式
・取得し得る株式の総数	400万株（上限）
・株式の取得価額の総額	8,000百万円（上限）
・取得期間	平成24年10月4日から平成24年12月28日まで
・取得方法	信託方式による市場買付

これに対して平成24年12月12日までに以下のとおり取得を完了しています。

取得株数	4,000,000株
取得価額	7,767百万円

なお、当第3四半期連結会計期間末時点における取得状況は以下のとおりです。

取得株数	3,506,900株
取得価額	6,838百万円